

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和4年 6月29日

旭川市長 殿

提出者

住 所 北海道札幌市中央区大通14丁目7番
NTT大通14丁目ビル
氏 名 東日本電信電話株式会社北海道事業部
執行役員事業部長 阿部 隆
電話番号 011-212-4010

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	東日本電信電話株式会社 北海道事業部
事業場の所在地	北海道札幌市中央区大通14丁目7番地
計画期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	情報通信業 通信業 [3711]
②事業の規模	資本金 3,350億円
③従業員数	35名 (東日本-北海道 1,601名)
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙1-①、別紙1-②のとおり

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図)			
別紙2のとおり			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（R3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり	2121.8 t
	(これまでに実施した取組)		
別紙4のとおり			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	排出量	別紙3のとおり	2118.0 t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙4のとおり			
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 別紙4のとおり		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（ R 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（ R 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	—	— t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（ R 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（ R 3 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり	2121.8 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	21.7 t
	再生利用業者への処理委託量	t	2121.8 t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	— t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
別紙4のとおり			

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙3のとおり	
	全処理委託量	別紙3のとおり	2118.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	2118.0 t
	再生利用業者への 処理委託量	t	2118.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	— t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
別紙4のとおり			
※事務処理欄			

備考

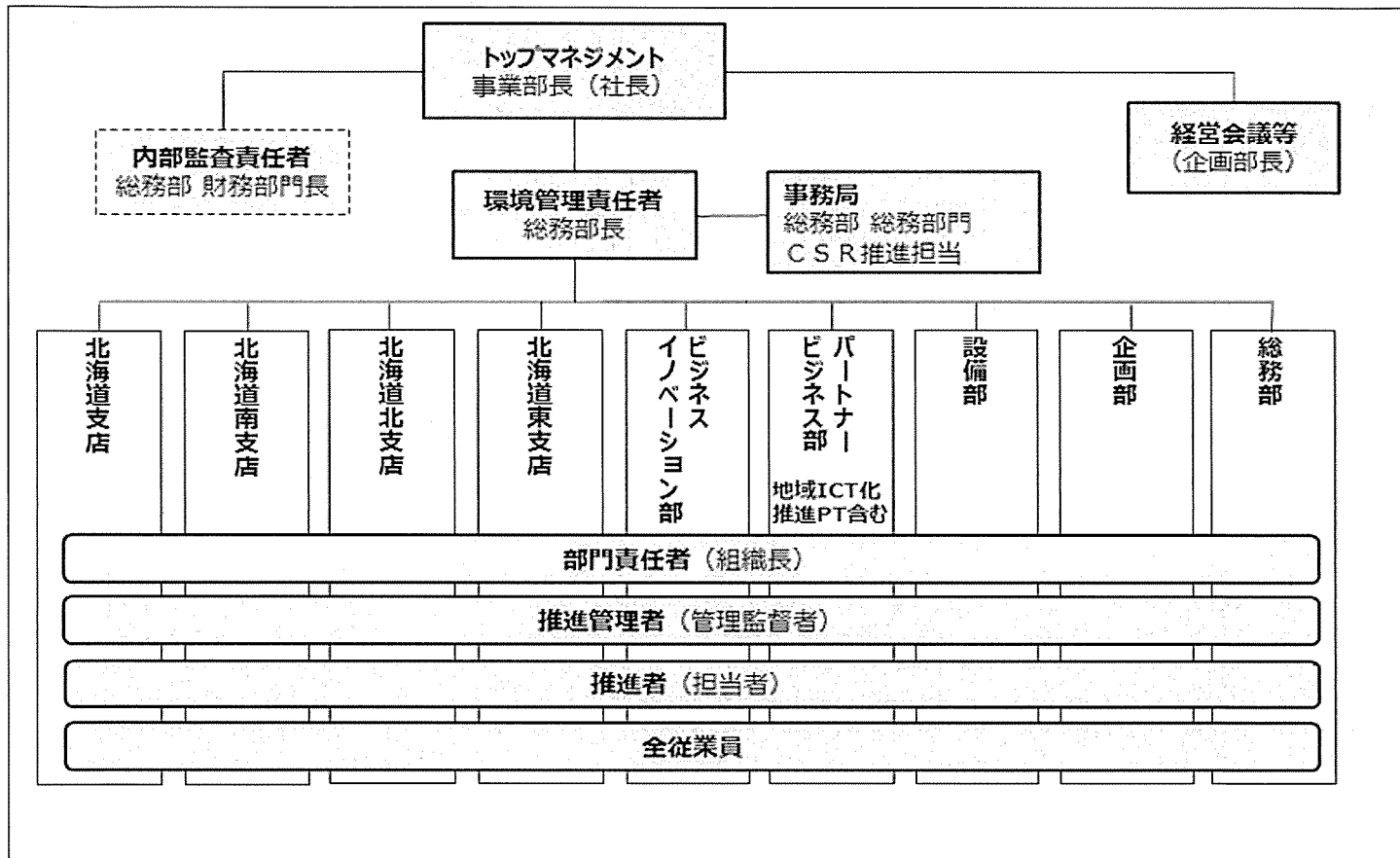
- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理 契約業者

産業廃棄物区分	廃棄物の種類	排出場所	収集運搬会社	廃棄物の扱い	リサイクル処理業者
産業廃棄物	①廃プラスチック類	NTT東日本株式会社 各事業所 株式会社NTT東日本一北 海道各事業所 各協力会社工事事務所	株式会社クロダリサイクル	①②⑦⑧	株式会社クロダリサイクル
	②金属くず		株式会社マテック	①②④⑥⑦⑧⑨	株式会社マテック
	③がれき類		株式会社鈴木商会	①②⑦⑧⑨⑩⑫	株式会社鈴木商会
	④ガラスくず、コンクリートくず 及び陶磁器くず		有限会社吉野商会	①②⑦⑧	有限会社吉野商会
	⑤石綿含有産業廃棄物 (ガラスくず)		エア・ウォーター物流株式会社	⑧	国長金属株式会社
	⑥木くず		北海道電電輸送株式会社	①②③⑫	株式会社環境サービス
	⑦安定型混合廃棄物		大立運輸株式会社	③	株式会社カネス杉澤事務所
	⑧廃電気機械器具		株式会社十商カムイ	①②③⑦⑧	株式会社十商カムイ
	⑨水銀使用製品 産業廃棄物		株式会社最上クリーンセンター	⑤	株式会社最上クリーンセンター
	⑩汚泥		株式会社公清企業	⑩	株式会社公清企業
	⑪廃電池類(乾電池)		株式会社釧路厚生社	⑩	株式会社釧路厚生社
	⑫紙くず		株式会社北海道エコンス	⑩	株式会社北海道エコンス
			函館環境衛生株式会社	⑩	函館環境衛生株式会社
			JX金属苫小牧ケミカル株式会社	③	札幌リサイクル骨材株式会社
			株式会社環境保全運輸	③	道東興行株式会社
			細谷建設株式会社	③	野田建設工業株式会社
			愛知産業株式会社	①②③④⑥⑦	東亜建材工業株式会社
	株式会社アシスト	④⑥	JX金属苫小牧ケミカル株式会社		
	株式会社コーセイ	⑥	有限会社 富栄産業		
	東亜建材工業株式会社	③	岡本興業株式会社		
	北清ふらの株式会社	②③④	角山開発株式会社		
	シティ環境	③	株式会社岩佐		
	ニセコ環境株式会社	②	株式会社環境保全サービス		
	三九建設	①	株式会社シグマ		
	谷口電工株式会社	④	谷村運輸株式会社		

【別紙2】

令和4年度 NTT東日本北海道事業部グループISO14001推進体制



【認証登録】

審査機関: 一般財団法人日本品質保証機構

登録番号: JQA-EM0712

初回登録: 2000.2.10

有効期間: 2024.02.09

R2年度実績値及びR3年度目標値(旭川市)

(単位: t)

廃棄物の種類及び 実績・目標の別 排出・処理の区分	廃プラスチック類		金属くず		がれき類		ガラスくず		石綿含有産業廃棄物(ガラスくず)		木くず		安定型混合廃棄物		廃電気機械器具		水銀使用製品 産業廃棄物		汚泥		総計	
	R2年度 実績	R3年度 計画	R2年度 実績	R3年度 計画	R2年度 実績	R3年度 計画	R2年度 実績	R3年度 計画	R2年度 実績	R3年度 計画	R2年度 実績	R3年度 計画	R2年度 実績	R3年度 計画	R2年度 実績	R3年度 計画	R2年度 実績	R3年度 計画	R2年度 実績	R3年度 計画	R2年度 実績	R3年度 計画
排出量	1.6	1.0	53.5	53.0	1706.8	1706.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.9	15.0	24.0	24.0	0.0	0.0	6.5	6.0	1808.3	1805.0		
自己再生利用量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己熱回収量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己中間処理減量化量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己埋立処分又は海洋投 入処分量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全処理委量	1.6	1.0	53.5	53.0	1706.8	1706.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.9	15.0	24.0	24.0	0.0	0.0	6.5	6.0	1808.3	1805.0		
優良認定処理業者へ の処理委託量	1.6	1.0	52.5	53.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.0	13.0	5.4	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	72.6	72.0		
再生利用業者への処 理委託量	1.6	1.0	53.5	53.0	1706.8	1706.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	7.0	0.0	0.0	6.5	6.0	1775.3	1773.0		
認定熱回収業者への 処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.9	15.0	17.1	17.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.0	32.0		

R1年度実績値及びR2年度目標値(旭川)

(単位:t)

廃棄物の種類及び 排出・処理の区分 実績・目標の別	廃プラスチック類		金属くず		がれき類		ガラスくず		石綿含有産業廃棄物(ガラスくず)		木くず		安定型混合廃棄物		廃電気機械器具		水銀使用製品 産業廃棄物		汚泥		総計	
	R1年度 実績	R2年度 計画	R1年度 実績	R2年度 計画	R1年度 実績	R2年度 計画	R1年度 実績	R2年度 計画	R1年度 実績	R2年度 計画	R1年度 実績	R2年度 計画	R1年度 実績	R2年度 計画	R1年度 実績	R2年度 計画	R1年度 実績	R2年度 計画	R1年度 実績	R2年度 計画	R1年度 実績	R2年度 計画
排出量	3.7	3.0	31.0	31.0	1463.0	1463.0	0.9	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0	20.8	20.0	23.8	23.0	0.3	0.0	7.3	7.0	1559.6	1556.0
自己再生利用量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己熱回収量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己中間処理減量化量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自己埋立処分又は海洋投 入処分量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
全処理委量	3.7	3.0	31.0	31.0	1463.0	1463.0	0.9	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0	20.8	20.0	23.8	23.0	0.3	0.0	7.3	7.0	1559.6	1556.0
優良認定処理業者へ の処理委託量	2.2	2.0	30.3	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.5	15.0	5.6	6.0	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	53.0
再生利用業者への処 理委託量	3.7	3.0	31.0	31.0	1463.0	1463.0	0.9	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0	0.0	0.0	9.6	9.0	0.3	0.0	7.3	7.0	1515.7	1522.0
認定熱回収業者への 処理委託量	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.0	9.0	20.8	20.0	14.2	14.0	0.0	0.0	0.0	0.0	43.9	34.0

＜産業廃棄物の排出の抑制に関する事項＞

項 目	これまでに実施した取組	今後実施する予定の取組
廃プラ類	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制
金属くず	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制
がれき類	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制
ガラスくず	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制
石綿含有産業廃棄物 (ガラスくず)	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制
木くず	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制
安定型混合廃棄物	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制
廃電気機械器具	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制
水銀使用製品 産業廃棄物	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制
廃電池類(乾電池)	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制
汚泥	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制
紙くず	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制	通信設備の定期点検、メンテナンスによる設備の長期利用化により、排出を抑制

＜産業廃棄物の分別に関する事項＞

項 目	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組み	今後実施する予定の取組み
廃プラ類	分別された専用コンテナにて品目ごとに一定期間保管	専用コンテナによる分別保管の継続実施
金属くず	分別された専用コンテナにて品目ごとに一定期間保管	専用コンテナによる分別保管の継続実施
がれき類	分別された専用置場にて品目ごとに一定期間保管	専用置場による分別保管の継続実施
ガラスくず	分別された専用コンテナにて品目ごとに一定期間保管	専用コンテナによる分別保管の継続実施
石綿含有産業廃棄物 (ガラスくず)	分別された専用コンテナにて品目ごとに一定期間保管	専用コンテナによる分別保管の継続実施
木くず	分別された専用置場にて品目ごとに一定期間保管	専用置場による分別保管の継続実施
安定型混合廃棄物	分別された専用コンテナにて品目ごとに一定期間保管	専用コンテナによる分別保管の継続実施
廃電気機械器具	分別された専用コンテナにて品目ごとに一定期間保管	専用コンテナによる分別保管の継続実施
水銀使用製品 産業廃棄物	分別された専用コンテナにて品目ごとに一定期間保管	専用コンテナによる分別保管の継続実施
廃電池類(乾電池)	分別された専用コンテナにて品目ごとに一定期間保管	専用コンテナによる分別保管の継続実施

汚泥	分別された専用置場にて品目ごとに一定期間保管	専用置場による分別保管の継続実施
紙くず	分別された専用置場にて品目ごとに一定期間保管	専用置場による分別保管の継続実施

<産業廃棄物の処理の委託に関する事項>

項目	これまでに実施した取組み	今後実施する予定の取組み
廃プラ類	・優良認定処理業者への委託拡大による適正処理の取組み ・リサイクル100%化に向けたスキームの確立	再生利用100%を目指す取り組みの継続
金属くず	・優良認定処理業者への委託拡大による適正処理の取組み ・リサイクル100%化に向けたスキームの確立	再生利用100%を目指す取り組みの継続
がれき類	・優良認定処理業者への委託拡大による適正処理の取組み ・リサイクル100%化に向けたスキームの確立	再生利用100%を目指す取り組みの継続
ガラスくず	・優良認定処理業者への委託拡大による適正処理の取組み ・リサイクル100%化に向けたスキームの確立	再生利用100%を目指す取り組みの継続
石綿含有産業廃棄物 (ガラスくず)	・優良認定処理業者への委託拡大による適正処理の取組み	無害化し再生利用する取り組みの継続
木くず	・優良認定処理業者への委託拡大による適正処理の取組み ・リサイクル100%化に向けたスキームの確立	再生利用100%を目指す取り組みの継続
安定型混合廃棄物	・優良認定処理業者への委託拡大による適正処理の取組み ・リサイクル100%化に向けたスキームの確立	再生利用100%を目指す取り組みの継続
廃電気機械器具	・優良認定処理業者への委託拡大による適正処理の取組み ・リサイクル100%化に向けたスキームの確立	再生利用100%を目指す取り組みの継続
水銀使用製品 産業廃棄物	・優良認定処理業者への委託拡大による適正処理の取組み ・リサイクル100%化に向けたスキームの確立	再生利用100%を目指す取り組みの継続
廃電池類(乾電池)	・優良認定処理業者への委託拡大による適正処理の取組み ・リサイクル100%化に向けたスキームの確立	再生利用100%を目指す取り組みの継続
汚泥	・優良認定処理業者への委託拡大による適正処理の取組み ・リサイクル100%化に向けたスキームの確立	再生利用100%を目指す取り組みの継続
紙くず	・優良認定処理業者への委託拡大による適正処理の取組み ・リサイクル100%化に向けたスキームの確立	再生利用100%を目指す取り組みの継続

※2022年廃棄物報告に「紙くず」が追加になりました。